

# 平成26年度 事業報告書

平成26年度事業は、平成25年度第2回理事会（平成26年3月17日開催）において承認された「平成26年度事業計画及び収支予算」に基づき、里親制度の充実促進を図るため、次の事業を行った。

1. 里親制度に関する調査研究事業
2. 里親の育成事業
3. 里親制度の普及啓発事業
4. 里親に対する研修及び研究協議事業
5. 里親相互の連絡調整事業
6. 関係機関団体との連絡調整事業

## 1. 里親制度に関する調査研究事業（特別会計：国庫補助事業）

里親等の養育技術の向上、里親支援及び里親委託等の推進を図るため、設置された「全国里親委託等推進委員会」（平成24年度設置）において、社会福祉法人横浜博萌会子どもの虹情報研修センターとの業務委託契約により、次の調査研究を行った。

1) 平成24年度、25年度に行った調査研究を踏まえ、里親支援専門相談員や里親会活動等の参考するための報告書を作成した。

- ① 里親サロン運営マニュアル
- ② 里親研修でグループ演習を行うファシリテーターのために
- ③ 委託推進のための基盤づくりの先進的な取り組み
- ④ 里親リクルートに関する調査報告書(中間報告)

2) 調査の実施及び報告書等の取りまとめ等

- ① 本委員会及び小委員会の開催
- ② 実地調査及び報告その作成
  - ・里親研修実地調査(グループ演習10か所、委託推進のための基礎作り2か所)
  - ・グループ演習ワークブックの作成
- ③ 里親リクルートに関する取り組み調査
  - ・児童相談所(226か所)担当職員へのアンケート調査
  - ・里親支援機関(各里親会から3か所)
- ④ 調査結果の分析・検討
- ⑤ 事例集、研究報告書の作成・配布 8,000部  
[報告書配布先]

都道府県・市  
児童相談所、児童養護施設、乳児院等関係施設  
地方里親会、ブロック研修会参加者  
子どもの虹情報研修センター  
その他（関係機関・大学、施設等）

## 2 里親制度の普及啓発事業

### 1) 機関紙「里親だより」の刊行（特別会計：日本財団助成事業）

「里親だより」の発行・配布事業に対する助成対象は、年1回、A4版、12頁、12千部を発行して、都道府県・市町村主管部局、児童相談所、里親会、児童養護施設、乳児院、里親（会員）に配布する計画であったが、里親制度の普及啓発、情報提供等を行うため、一般会計から経費を繰り入れ、次のとおり発行した。

第100号 5月30日発行 A4版、16頁、各9,500部を発行

- ・里親制度創設期の成長と推戴はなぜ起こったのか（インタビュー）
- ・IFCO大阪世界大会ユースプログラムの成
- ・私の養育体験

第101号 8月20日発行 A4版、16頁、各10,000部を発行

- ・レスパイト・ケアを使っていますか？
- ・[ヒューマンライツウォッチ] 土井香苗さんインタビュー
- ・里親サロン活動調査
- ・私の養育体験
- ・ブロック研修会報告（関東、東海北陸、中国）

第102号 11月20日発行 A4版、16頁、各10,000部を発行

- ・里親委託率の低い地域の原因
- ・乳幼児期の施設養育がもたらす子どもの発達への影響
- ・里親にも育児休業制度を
- ・ISSJの国際養子縁組
- ・震災孤児たちを育てる親族里親への支援

第103号 2月20日発行 A4版、16頁、各10,000部を発行

- ・一時保護委託から養育里親へ
- ・委託直後の里親サロンの取り組み
- ・里親に育児休業制度が必要な理由
- ・福岡市里親会の自己改革と変化

発行 年4回（6月、9月、12月、2月） A4版、16頁

配布先 都道府県、市町村、地方里親会、会員、児童相談所、乳児院  
児童養護施設 その他（関係機関、団体等）

発行部数 各回 11,400部  
編集委員会の開催、取材 等

### 3) 里親会会長会議の開催（一般会計）

全国里親会の事業説明及び各里親会における活動状況報告、要望・質疑等について協議するため、里親会会長会議を開催した。

- ・ 日 時 9月18日（土）8時30分から10時30分
- ・ 場 所 下電ホテル 会議室

### 4) ホームページの充実（管理・更新）等（一般会計）

全国里親会の活動状況、会員の動向・会員向けの情報提供サービス、地方里親会の事業の開催状況（開催時期や募集等）などリアルタイムで最新情報を提供した。

## 3 里親の研修及び里親相互の連絡協調

### (1) 地区別里親研修会開催事業（特別会計：日本財団助成事業）

全国8ブロックにおいて、次のとおり開催した。

#### 1) 研修会開催状況

地 区	開催地	開 催 日	担 当	備 考（出席者）
北海道	岩見沢市	9月7日	道北双葉里親会	星野会長、寺山理事
東北	福島県いわき市	8月2・3日	福島県里親連合会	前田評議員、笹原理事
関東甲信越・静岡	静岡市	7月6日	静岡県里親連合会	星野会長、青葉理事
東海・北陸	愛知県蒲郡市	6月7・8日	愛知県里親会	木ノ内理事、欠田理事
近畿	滋賀県大津市	7月12・13日	滋賀県里親連合会	御所理事
中国	岡山県	10月18・19日	岡山市里親会	星野会長、落合理事
四国	松山市	9月7日	愛媛県里親連合会	御所理事、藤本理事
九州	那覇市	11月1・2日	沖縄県里親会	星野会長、赤木理事

#### 2) 研修内容

全国8地区において、里親及び関係者を対象として、家庭養護に関する徐問題について研修を行い、里親の資質向上を図るとともに、児相や施設職員等の参加による里親支援事業のあり方や里親会活動の方法等について協議するなど、里親制度の普及・促進を図った。

研修の方法は、社会的養護に関する研究者や児童養育の専門家等による基調講演をはじめ、各ブロックにおける里親制度の問題点や養育あり方などをテーマとして分科会を行い、里親の養育技術や知識の向上を図った。

また、永年、功労のあった里親に対して、各ブロック会長の表彰を行うとともに、里親会活動に対し寄付等の支援をした団体に感謝状の贈呈を行った。

① 北海道地区里親研修大会

- ・特別講演 「本当の”里親力”とは！～心のケアが自立につながる」  
村田和木
- ・シンポジウム 「子どもたちの自立に向けた支援について考える」

② 東北地区里親研修会

- ・記帳報告 「社会的養護の課題と将来像の実現に向けて」 前田 誠一
- ・分科会 「元里子とのワークショップ」  
第一分科会 山形県、第二 福島県、第三 岩手県

③ 関東甲信越静里親研究協議会

- ・基調講演 「子どもの心に寄り添って」 村瀬 嘉代子
- ・分科会 第1 地域との連携  
第2 自立期の支援 (措置解除前の課題)  
第3 虐待による影響と支援  
第4 里親ファミリーホーム養育指針に学ぶ  
第5 里親と実親とのかかわり  
特別分科会 中学生・高校生の集い「未来は僕らの手の中」
- ・ワークショップ  
第6 L G B T (性的少数者) と社会的養護  
第7 今、里親の社会的役割を里親の歌、紙芝居、朗読、演奏などを通して考えよう  
第8 社会的養護の子どもたち専門の就労支援会社  
第9 ママ目線で考える「地域のつながり」  
第10 ドラマ「明日ママがいない」が残した影響とは  
第11 里親制度に関する様々な新しい取り組みの紹介
- ・子どもプログラム 沼津っこふれあいセンター  
伊豆三津シーパラダイス

④ 東海北陸ブロック研究大会

- ・基調報告 里親制度の課題と現状 木ノ内 博道
- ・基調講演 成長の基盤としての安心・安全～希望を育むために
- ・シンポジウム テーマ 子どもの安心・安全を保障するために  
～里親がすべきこと～
- ・分科会 第1 里親になってよかったね  
～里親会のできることを、やりたいこと  
第2 養育里親さんのSOS ～話そう、知ろう、支援の輪  
第3 広げよう養子縁組が望む支援・協力の輪  
～真実告知、親試し、ルーツ探しについて  
第4 発達障害の知識と支援  
～もしかして発達障害かな？どう対応したらいい

## 第5 子どものための分科会

…先輩里子を交えてグループでおしゃべり  
子どもの想いを声に～しゃべりたい中高生集まれ  
大人のいないところで、中高生さんおしゃべりしませんか。学生、社会人も歓迎

### ⑤ 近畿地区里親研修会

- ・基調講演 京都少年鑑別所精神科医として、  
社会的養護で育つ子供を考える 定本 ゆきこ
- ・分科会
  - 第1分科会 里親会が行う里親支援  
～行政、支援者、里親との協働について
  - 第2分科会 乳幼児の早期里親委託の取り組みについて
  - 第3分科会 ファミリーホームの現状と課題
  - 第4分科会 社会的養護からの自立とその後の支援
- ・全体会 各分科会からの発表
- ・オプションイベント 交流会（参加者 57人）、  
里親サロン（参加者22人）

### ⑥ 中国地区里親大会

- ・記念講演 里親家庭に育って良かった 草間 吉夫
- ・分科会
  - 第1分科会 里親里子の体験発表
  - 第2分科会 石井十次と里親
  - 第3分科会 笑顔で支援（児童の自立）
  - 第4分科会 笑顔で子育て
  - 第5分科会 話してすっきり（グループワーク）

### ⑦ 四国地区里親研修会

- ・基調講演 地域とともに暮らす里親養育 山本 万喜雄
- ・グループワーク  
事例発表 和歌山県里親会、  
体験発表 愛媛県里親連合会 中予地区里親会、南予地区里親会
  - A班 未就学児童の里親 B班 小学生の里親
  - C班 中学生の里親 D班 高校生専門学校の里親
  - E班 ファミリーホーム

### ⑧ 九州地区里親研修大会

- ・基調報告 社会的養護の課題と取組～里親制度の動向 星野 崇
- ・基調講演 里親家庭で暮らすとは 横堀昌子  
～社会的養護の子どもたちと共に育ちあって経験を通して
- ・パネルディスカッション  
社会で子どもを守り、育む里親の役割を考える
- ・分科会

- 第1分科会 乳幼児養育を考える
- 第2分科会 里親支援専門相談員や児童養護施設と里親との相互理解と連携、各種支援の活用方法について
- 第3分科会 愛着障害と発達障害を理解する

(2) 里親会女性リーダー育成セミナー

これからの里親会における里母の役割について

①東日本（協力 関ブロ里母の会）

- ・参加者 60人
- ・11月8日(土) 11:00から16:00
- ・講演 藤井康弘 厚生労働省社会・援護局障害保険福祉部長  
「元厚生労働省家庭福祉課長が里親になった！」
- グループディスカッション、意見交換

②西日本（協力 山口県里親会）

- ・参加者 60人
- ・日時 8月21日(木) 13:00から20:30
- ・シンポジウム 「社会的資源の活用・協働子育て  
～少子高齢化の余波～」
- ・講師 山口県立大学社会福祉学部 教授 加登田 恵子

(3) 里親会代表と里親支援専門相談員とで取り組む里親支援マニュアル作成研修会（SBI子ども希望財団 助成事業）

- ・日時 7月26日(土)～28日(月)
- ・場所 セミナーハウス クロス・ウェーブ幕張
- ・研修内容
  - ・里親支援専門相談員の設置背景と目的の理解
  - ・里親会・里親・里子を取り巻く問題の支援対象
  - ・里親支援専門相談員マニュアル作成の検討
- ・講師
 

国立武蔵野学院 院長	相沢 仁
日本女子大学人間社会学部	林 浩康
日本社会事業大学専門職大学院	宮島 清
青山学院女子短期大学	横堀 昌子
和泉短期大学	桜井奈津子
淑徳大学	柏女 霊峰
房総双葉学園	小木曾 宏
- ・参加者 44人

#### 4 東日本災害支援事業

東日本大震災の被災児童に対する支援を引き続き実施した。

- (1) 「東日本震災子ども救援基金」を継続し、募金の受け入れを行った。
- (2) 被災児童への支援（高校を卒業し、大学等への進学や就職に際し祝金を1人10万円、13人に贈呈した。）
- (3) 「震災支援レスパイトツアー」のじっし（岩手県里親会）  
「集まれ東北のこどもたち in TOKYO」  
東京ディズニーシー観光 12月26日(金)から28日(日)
- (4) 「年忘れ里親子キャンプ」の実施（宮城県里親会、仙台市里親会）  
～大人も子供もリフレッシュしよう～  
会場 ホテル松島大観荘  
日時 12月23日(火) ミニコンサート、懇親会  
24日(水) お金にまつわる講座

#### 5 社会的養護経験者「ユースの集い」

社会的養護当事者が、現在の状況や今後の進路などについて話し合う「ユースの集い」を、岡山市において開催された「全国里親大会」に合わせて開催した。

参加者	(19日参加者28人、不参加5人)		
就労者	13人 (男10人、女3人)	屋内	7人、屋外 5人
大学生	3人 (女3人)	＃	1人、＃ 2人
高校生	17人 (男8人、女9人)	＃	3人、＃ 10人
計	33人 (男18人、女15人)	＃	11人、＃ 17人

1日目は「おかやま若者サポートステーション」の自立支援スタッフの指導を受け、全国里親大会の分科会「里親・里子の体験発表」で、参加したユースの中から2名が「ユースの声」として体験発表（ユース参加者全員が分科会に参加）するとともに、終了後会場を「下電ホテル」に移動して交流会を行った。

翌日は、ホテル内で「語る会」（11人）と「鷺羽山ハイランド観光」（17人）の二グループに分かれ集会し、それぞれ昼食後現地解散した。

#### 6 関係機関・団体等との連絡調整（一般会計）

全国社会福祉協議会、全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国児童家庭支援センター協議会等の関係団体との連絡を密にして、制度の推進と啓発及び周知徹底に努めた。

## 7 その他、法人の目的を達成するために必要な事業

### (1) J X里親家庭奨学助成への協力

全国社会福祉協議会が、J Xホールディングス株式会社から寄付を受けて、里親家庭の委託児童や児童養護施設、母子生活支援施設の入所児童が大学や専門学校等に進学する場合、支度金の一部として10万円を助成しており、里親会会員等への周知や申請の取りまとめ、奨学金の送金等を行った。

申請数 86名 決定数 86名(24年度66名、25年度96名)

### (2) 里親賠償責任保険の代理業務

日本興亜損害保険株式会社との契約により、里親会の会員を加入者とする「里親賠償責任保険」について、加入申請の受付や名簿の整理、保険料の徴収・精算などの事務処理を行った。

契約者数 団体 54件、 個人 13件  
26年度最終確定保険料 14,248,960円

### (3) 理事会及び評議員会の開催

- ・ 26年度第1回理事会 25年5月29日(木)  
議 題 平成27年度事業報告及び収支決算について  
場 所 こどもの城 研修室 902号  
出席理事 10名  
出席監事 2名
- ・ 26年度第1回評議員会 26年5月29日(木)  
議 題 平成27年度事業報告及び収支決算について  
場 所 こどもの城 研修室 904号  
出席評議員 6名  
出席監事 2名
- ・ 26年度第2回理事会 27年3月10日(火)  
議 題 平成27年度事業計画及び収支予算について  
場 所 日本財団 会議室  
出席理事 8名  
出席監事 2名